

弓道 いばらき

令和3年6月 第43号

発行者 笠間市箱田大郷戸1-31
茨城県弓道連盟
理事長 高松 清
<http://ibakyuren.com>

令和三年度に向けて



茨城県弓道連盟 会長 久保田 清

令和二年度は、コロナウイルスに

始まりコロナウイルスで終わった一年間でした。令和三年に入っても終息せず、コロナウイルスに向かって全世界一丸となって戦っている現状です。茨城県弓道連盟としても、審査、大会、講習会と予定していた事業の殆どが中止になってしまい、会員の皆様方には大変ご不便をおかけしました。

県連の行事等は担当した各専門部の工夫で、開会式、矢渡し等を行わず、密を避けるために人数制限をし、入場、開始時間をずらして数回に分けるなどの対応を徹底して行いました。通常年と違い対策作業が多いなか、緊急事態宣言等を勘案しながら、各行事の決行、中止の判断をギリギリまで待つて行おうという繰り返しで

指導部の講習会においても種別を

分け、参加者を縮小して各種別一回のみ開催するのが限度の対応でした。強化部では、開催できる道場を探しながら、一次強化、二次強化と例年通りに近い強化が行われました。

関東、全国レベルの大会、審査、講習会が中止となりましたが、唯一全国リモート大会が初めて行われ、我が県も参加し国体強化選手が挑みましたが、強化選手の若返り時期であったため思うように結果が出ず、残念ながら、予選敗退でした。更なる強化を図り復活を期待いたします。令和三年度も暫くの期間は同じ様な対応で臨みたいと思っています。

そこで提案です。コロナで練習がこない、気が滅入ってしまい弓を引くのが億劫だと思っていませんか。ピンチをチャンスに変える取り組みをして下さい。大会、審査等があまりない時に、自分の悪癖を徹底的に直す努力をするのです。的前で引かずにゴム弓、巻き藁等で悪癖を見つめ直し正射正中を創り上げる努力をして下さい。途中で諦めずに、弓道

は誰も助けてくれません。全て自己責任の修行道です。自分を信じて継続しないと目標には届きません。

参考に、言志四録（げんししろく）のことを書きます。言志四録は江戸時代後期の儒学者佐藤一斎が著した書物です。佐藤一斎は、弟子に、杉晋作、伊東博文などがいた人物で、言志四録は西郷隆盛の愛読書だったと言われています。その中で、先人は多くの人から尊敬される立場に居るのだから、その言動は端正で、その意気は益々壮大でなければならぬ。そして多くの人を包容し、若い人を育て上げることこそ望ましい。ところが、今の時代の先人（年配者）は、もう年寄りだからと言って、自ら粗大ゴミに甘んじているか、さもなければ少年の様な我がままだか示そうとしない人がいる。いずれも良くない。時々刻々と時間は移るが、常に現在の時点に心を集中しておかねばならない。まだ来もしない将来を迎える事はできないし、過ぎ去つ

た過去を追いかけても追い付かない。過去にこだわり、来もしない。未来に心を乱すのは、本心を忘れていた状態である、と説いています。この教えを今の弓界にあてはめれば、最初の教えは、称号者たる者壮大で包容力を持ち我がまませず、若い人達を育てなさい、後の教えは、射に例えれば、過去にとらわれず、未来を望まず、この

一射に全精力を注ぐということです。今年度のやるべきことは、一、

若い世代の強化、発掘、底辺拡大。二、会員各人の心気を養うことです。正射必中をめざし、心気を養えば向かう所敵なし。奮闘を願います。



祝

久保田 清会長 旭日双光章 受賞

令和三年 春の叙勲で、久保田 清会長が、旭日双光章を受賞されました。

茨城県弓道連盟としても、大きな喜びです。久保田先生の今後のますますのご健勝をお祈りするとともに、さらなるご指導をお願いいたします。



令和三度に向けて



理事長 高松 清

この度、多年の弓道に対する輝かしいご功績により、茨城県

弓道連盟会長 久保田清先生が春の叙勲に於いて旭日双光章を受章されました。誠にめでとうございます。名誉ある旭日双

光章を受章されましたのも会長の弓道に対する熱意とご努力を思えば当然と申すべきものでありましょう。当連盟としても誉れ高いことでございます。

さて、小生、昨年度は皆様に支えられた理事長一年目の中で、新型コロナウイルス感染防止の影響で多くの行事が中止や変則的な開催となりました。

また、弓道競技会の新たな試みとして三月二十一日に全国オンライン弓道交流大会が開催されまし

た。全競技をオンライン上で実施することで、新型コロナウイルス感染予防に対応した新たな弓道競技会の開催となりました。競技の様子をYouTubeでライブ配信をし、ツイッターでは競技結果速報を配信しました。本部及び各会場の運営役員間の連絡はライン・オープンチャットを用いて行いました。競技部が中心となってトラブル等もなく運営でき当連盟の運営能力の資質の高さを改めて確認したところ です。

審査会でも中止が相次ぐ中、全弓連から特別措置として中高生審査会のビデオ審査を実施する決定がなされました。「ビデオ審査に関する要領全弓連審査委託事業ガイドライン」に準じて初めての実

施でしたが、審査部が中心となり機材の準備から各校への手配等の取組みは大変なご苦勞であったことと思います。

さて、令和三年度の代議員会は、新型コロナウイルス感染防止のため、昨年に引き続き書面での決議とさせていただきます。

第一号議案「事業報告」では競技部より県内・外の大会における結果等、指導部からは講習会の開催状況等研修事業について報告がありました。審査部からは一般審査・中高生審査・連合審査の実施状況及び推薦における合格者の掲載等、強化部からは強化事業について報告がありました。

続いて、第二号議案「決算報告」では、支部別会員登録数千百十四名であったことをはじめ一般会計・各専門部会計・大規模大会等基金について収支報告がありました。この収支については、令和三年四月二十四日に監査を実施し、監事より適正に処理されて

いる旨の結果報告をいただいております。

第三号議案「令和三年度事業計画(案)」では茨城県弓道連盟行事予定を例年どおり計画しましたが、新型コロナウイルスの影響で中止が相次いでおります。

また、第四号議案「令和三年度一般会計予算(案)」では、大会や審査会の中止等が懸念される中での予算配分となりました。

第五号議案「規約の改正」については、全日本弓道連盟分担金変更の決定による改定ですのでご理解をお願い致します。

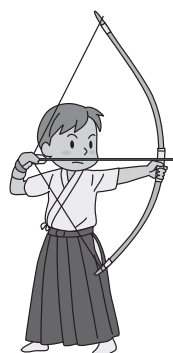
報告事項として「茨城県弓道連盟七十周年記念事業計画」については、新型コロナウイルス感染防止のため記念大会や式典等は当面延期となりました。

コロナ禍で公共の施設が一部利用できない支部も多く、また高齢の会員は感染の心配から思うように稽古ができない状況となっております。現在、大会や行事は変則的

な開催となり、コロナ感染症が収束した後もオンライン大会やリモート会議等、社会のありようが一変するものと思われます。

令和三年度も新型コロナウイルス感染防止の対策を優先しながらそれぞれの行事を進めて行かなければならない状況が継続しています。そのような中ですが、弓道人口の拡大は近年の課題でもあり、弓道教室をはじめ地域活動をより進められ、弓道を継続できる環境づくり等会員の皆様には様々な工夫をお願いいたします。

最後になりますが、今後も皆様方のお力添えをお願いするとともに、皆さま方の益々のご発展、ご活躍をご祈念いたします。



総務企画委員会より



総務企画委員長 明間 勲

総務企画委員会は、弓道指導

の策定、連盟の活性化の施策など、会長が会務に要する重要案件を検討し、長、中期的にまとめて会長に報告するものとありますが、昨年度から、新型コロナウイルス感染予防対策として、集合決議ではなく、書面による議決になりました。

新型コロナウイルスが、経済の自粛を長引かせ、私たちの弓道連盟も大会、審査の中止、開会式、矢渡しの割愛、会場使用の二部制、受付の時間制限等々を行い、中学校生審査においてはこれまで経験のないビデオ審査となり戸惑いもありました。担当していただいている皆様には、ご苦勞をおかけしていますが、今後もよろしくお願

いしたいと思います。

中央審査会についても感染拡大防止対策に則った実施要項になりましたが、新型コロナウイルス感染が縮小どころか全国的になお高水準が続いている中、今後も臨機応変の対応になるものと思われれます。

さらにコロナ禍はいろいろな影響を及ぼしています。コロナ禍となって二年になり、弓道の稽古の現場は落ち着きを取り戻しつつあるようですが、各道場はいかがでしょうか。たとえば、コロナ禍を機に弓道から離れてしまった方はいないでしょうか。各道場での感染拡大対策を工夫し、弓道人口が減らないようにしていかなければと思います。

反対に、今まで運動習慣がなかったものの、外出自粛で在宅時間が増え、健康増進のためスポーツを始めようという人もいますでしょう。

私も持病の克服のため、毎日一万歩を目標にしましたが、二月～三月には達成できず、今は日々の平均の目標に変更し、一日七千歩、歩いています。歩けば薬いらず、歩けば食事が美味しく、体力もつき「歩くだけで、病気が治る」そんな声が聞こえてきます。クリニックの先生のお話だと、歩くことで、病気の九割は治るとのこと。車時代の今でこそ、健康を歩いてつくるといふぐらいの気持ちで歩いてほしいと思います。高血圧、糖尿病、生活習慣病、とにかくありとあらゆる病気も、歩くことで医者いらずになる、確信を持って言えます。弓道の稽古も、基本の体力があつてこそ。頑張ります。

専門部だより

指導部

部長 米山 良美



会員の皆様方におかれましては、日ごろ指導部の事業にご協力

力をいただき誠にありがとうございます。昨年度は「コロナウィルス感染拡大防止のためには講習会の計画はどうすればよいか。」ここからのスタートでした。過去の講習会参加者のデータを基に、ソーシャルディスタンスを保つためには各講習会の人数を制限しなければならぬとの結論に達し、当初計画されていた講習会を各段位別に変更し、各講習会の人数を四十人以下で実施しました。地域社会弓道指導者講習会、外部講師招聘講習会については、コロナが蔓延している状況での講師派遣不可との理由により、残念ながら中止となりました。

講師を担当されました先生方には、感染リスクのあるなかご指導いただき感謝申し上げます。また参加された受講者の皆様にも、感染対策等不自由ななか参加いただき、ありがとうございます。また、当日担当いただいた指導部員の皆様にも感謝申し上げます。

今年度に入っても、感染者の人数は増加傾向が続き、首都圏は緊急事態宣言が続いております。このような状況下ですので、今年度の講習会も昨年と同様に各段位別に分けて行います。(三段から錬士五段の講習会は二回ずつ実施)感染防止対策ガイドラインをもう一度確認いただき、講習会に参加くださいますようお願いいたします。

講習会の目的は、教本に則り、体配、射法射技のレベルアップのためのヒントを得る機会であると考えます。講習会に参加することにより、日ごろの稽古の目標が見いだせるのではないのでしょうか。しかし、コロナ禍においては、道場での稽古も制限されていること

と思います。道場での稽古にとらわれず、自宅においても工夫すれば出来るものもあります。このような時こそ、新しいアイデアが生まれてくると思います。講習会での課題を日頃の稽古で克服し、その到達度合いが審査、競技会に反映されることでしょう。

弓道の修行は螺旋階段を上っているようなもの、段位が上がるに従い、上達度合いがわからない、もしかすると以前より悪くなっているのでは?など悪いことばかり考えがちです。ですが試行錯誤を繰り返しながら前向きに弓を引き続けることにより、いつの間にか射が変化しています。自分では気が付かないが、周りの人はその変化を感じています。

まさに継続は力なりです。弓道の要諦である至誠と礼節さらに忠恕の精神でコロナ禍を乗り越えるものと信じます。

今年度も重点項目を、
「弓道教本及び副読本に基づいた基本の指導」とします。

指導者の心得

一、日本弓道の指導者として、

自ら至誠と礼節を体現し真善美を目指すこと。

二、受講者に対する自己の影響

力を認識し、自身の言動の倫理性について常に注意を払うこと。

三、指導にあたっては、自らが実践躬行すること。

四、指導にあたっては、弓道教本及び副読本に基づき全国的に統一された指導を行うこと。

指導項目

一、射法、射技の基本

・五項目の指導

・正しい射法八節の指導

二、基本体の必要性

・動作の注意点(八項目)の指導

三、射品、射格の向上について

・高段位者は常に射品・射格を高める努力を怠らないことの指導

四、指導者育成講習会について
目的に沿った指導項目を加

える(グループディスカッション等)

五、公認資格認定制度について
・公認資格認定制度における定着と更新方法の周知を行う

矢羽の取り扱いと矢羽の使用に関する準則について

・適正な矢羽の使用について周知徹底を行う

最後に、今年度も指導部の事業にご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様方の健康と更なる飛躍を祈念いたします。

審査部

部長 新井 重夫



日頃より審査会の運営について、ご理解ご協力をいただき、

心より感謝申し上げます。

昨年度は、コロナ禍の緊急事態宣言の発出で弓道場が使えない状況もあり、皆様のご期待通りの審

査会を開催することができず、心苦しい限りでした。いまだにコロナ変異株拡大の第四波の中にあり、日常生活が制限される状況が続いております。これまで当たり前に過ごしていた何気ない毎日が、かけがえのないものであったと感じております。

各方面からの要請・指示および「ガイドライン」従い、感染防止対策を図りながら、次の通り開催する予定です。

中高生対象の審査会につきましては、昨年同様、ビデオ撮影による審査（級位・初段・三段）を二回実施する予定です。各学校の顧問の先生方におかれましては、昨年度同様にお手数をおかけしますが、生徒の皆さんのため、ご尽力をお願いいたします。

一般審査会につきましては、段位ごとに二日間に分けて（一日目は無指定・級位・初段・三段、二日目は三段・四段）受審者の分散を図り、二回開催する予定です。

五段につきましては、従来の連合審査会は中止となっておりますので、茨城県弓道連盟所属の方のみを対象とした五段審査会を開催する予定です。

また、昨年度の中央審査会は全中止となりましたが、推薦にて一名の方が七段に昇段、一名の方が教士に昇格されました。

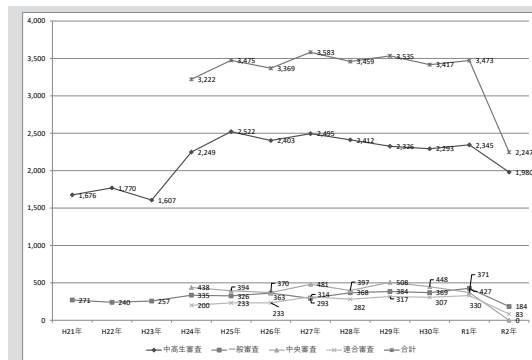
今年度の審査会につきましては、

埼玉県・栃木県・群馬県を対象とした六段・教士の特別臨時中央審査会が開催されました。しかしながら、五月に開催予定であった八段・七段・錬士の審査会は延期となりました。

今後も年度当初に計画された審査会日程等の変更の可能性がありますが、全日本弓道連盟等から指示があり次第、迅速に各支部の支部長・連絡員の方々にてご連絡いたします。

まだまだ先行き不透明な状況であり、ウィズコロナの審査会について、試行錯誤が続くことと思われます。今年度も受審者、審査委員、審査部員の皆様の安全・安心を第一に考え、昨年度以上、円滑な審査会運営に努めてまいります。何かありましたら忌憚のないご意見をお寄せください。今後も茨城県弓道連盟の発展および皆様のご期待通りの審査会開催に向け、一層精進してまいりますので、ご指導・鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

受審者の推移



競技部

部長 後藤 裕一



中嶋先生の後任として競技部長という大役を引き受けた私に

とって、令和二年度は大きな意味をもつ一年でした。新型インフルエンザ等対策特別措置法として「緊急事態宣言」が発令されてから、生活や経済に甚大な影響を受けただけでなく、大会の競技運営

においても大きな改革を求められたからです。茨城県の宣言は五月十四日まで続き、春季大会（四月十九日）、県民総体兼選手権予選（五月十日）、選手権決勝大会（五月二十三日）が中止となりました。その後、茨城県弓道連盟「新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン」に則りながら、会長、副会長、理事長にご指導を頂くことで、遠的大会（七月二十六日）、夏季錬成大会（八月十五日）、段位別大会（九月二十六日）、中野杯（十一月十四日）等の開催につなげることができました。

開催方法は、種別毎の分散開催であり、大会要項には、開会式中止、応援や観戦の禁止、羽分け以上を入賞条件として、条件を満たさない参加選手には競技後、帰宅退館をお願いすることを入れました。コロナ禍で道場の使用制限や自粛生活で練習量が減少している中でこの様な条件を提示しての開催は不条理ではないかとも思いましたが、県連主催の行事でクラスターが発生しないようにと考えての

事でした。参加選手の皆様へは大変申し訳なく思っております。また、運営に当たられた競技部役員、地区役員の皆様には、朝早くからの会場準備だけでなく、アルコール消毒を含めた感染予防対策、終了後の後片付け消毒と大変ご苦勞様でした。心から感謝申し上げます。

た。今後も感染力の強い変異株の拡大により防疫措置の強化を余儀なくされることを考えると、新たなコロナ大会としてオンラインでの申込や参加者メーリングリストの作成など、茨城県連もIT化をより進めていく必要性があります。

ことに高く美しい。先のことを心配し出せば、その瞬間に心が逃げてしまい、動く手足もおろそかになってしまう。「田の草はあるじの心一つにて 米ともなれば荒れ地ともなる」と、心の一筋の大事を教えてもいる。

年度の途中までは感染予防対策をしながらも大会を開催する事が出来ましたが、年末には茨城県内でも感染者が急増し、支部対抗（十二月二十日）、新年射会（一月十一日）は、感染拡大防止と選手・大会関係者の健康・安全面を第一と考えて中止する事にしました。直前まで準備をして頂いた日立地区及び土浦地区・県西地区の大会運営役員及び大会関係者の皆様には、大変ご迷惑をお掛けした事を深くお詫び申し上げます。

より自粛生活が続いている中、私も道場にも行けず、独り巻き藁稽古生活が増えました。コロナ禍での先の見えない状況への不安と独り稽古の不安を抱きながらの稽古でした。時間的余裕があったので、弓道教本を読みながら稽古をしました。

た。二宮尊徳（二宮金次郎）先生の道歌を射法の一つ一つの動作の重要性として捉えた中野慶吉先生の徳の高さを学ぶだけでなく、コロナ禍での将来への不安を嘆いている自分への戒めとして、目の前の事に精一杯取り組むことの重要性を学びました。目の前の事に真意を持って精一杯努めること。この事はあらゆる活動においても大切な事と思えます。この事が自粛生活で私が得た事です。皆様も自粛生活を有効活用できていますでしょうか？

その中で弓道教本第四巻P45、弓道理念と射法八節、中野慶吉先生の射法詳説の「会」の中に道歌に「この秋は水か嵐か知らねども ただひたすらに田の草をとる」とあるが、稔りの秋の天災など思いわずらうことはない。今は、田の草取りをするときだから、ただひたすらに田の草をとるのだと思えば、その心に従って、苦勞といわず手足は動く。それが、心身合一であり、その一心の姿はま

た。二宮尊徳（二宮金次郎）先生の道歌を射法の一つ一つの動作の重要性として捉えた中野慶吉先生の徳の高さを学ぶだけでなく、コロナ禍での将来への不安を嘆いている自分への戒めとして、目の前の事に精一杯取り組むことの重要性を学びました。目の前の事に真意を持って精一杯努めること。この事はあらゆる活動においても大切な事と思えます。この事が自粛生活で私が得た事です。皆様も自粛生活を有効活用できていますでしょうか？

末筆ですが、諸先生方、先輩方のご指導ご協力により昨年度は何とか大会運営を終了する事が出来ましたこと、心から感謝申し上げます。また、会員の皆様のご健

勝とご多幸をお祈り申し上げます。そして、令和3年度年度も競技運営にご協力宜しくお願い致します。

あり、中止発表が約一ヶ月前で、大会開催が難しい状況下での選考方法については、全ての地連が希望に沿った種別を出場させることができ、関係者が集まらなくても（三密回避）選考可能なことから、抽選方式を選考方法として提案がありました。

初めの試みでありましたが、本国体が中止になったことで抽選での選考方法は行われることはありませんでした。

強化部

部長 高木 勉



田会長をはじめ役員の方、強化部スタッフ

のサポートで無事終了することができました。皆さまには心より感謝申し上げます。

今年度も微力ながら強化部員と共に努力して参りたいと思いますので、何卒ご指導ご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。

昨年は六月二十八日の神奈川関東ブロック大会、十月九日十二日開催の第七十五回鹿児島国

体大会が新型コロナウイルスの影響で開催が難しく延期となり、二千二十五年に特別大会として実施することになりました。

ブロック大会は主管地連である神奈川県の状況次第ということも

あり、中止発表が約一ヶ月前で、大会開催が難しい状況下での選考方法については、全ての地連が希望に沿った種別を出場させることができ、関係者が集まらなくても（三密回避）選考可能なことから、抽選方式を選考方法として提案がありました。

初めての試みでありましたが、本国体が中止になったことで抽選での選考方法は行われることはありませんでした。

大会前には茨城の練習場所である堀原運動公園武道館弓道場が緊急事態宣言で使用出来ない期間があり、強化選手も予定していた強化練習や大会、審査なども中止となり、国体関東ブロック大会に向けてのモチベーションを保つのは難しかったと思います。

今年度の強化選手は昨年選手選考会を行えなかったこともあり、引き続き協力して頂いている強化選手と各大会での成績を参考に選手選考を致しました。

三月二十日には全国オンライン弓道交流大会に参加させて頂き、

出場経験の少ない選手には試合の緊張感、試合に臨む心構えなど良い経験をさせて頂きました。

今年度は栃木関東ブロック大会、三重国体となります。

また新型コロナウイルスの影響でどのような形で行われるかわかりませんが、ベストな状態で臨めるよう練習をしていきたいと思います。

最後になりますが、昨年コロナ禍で行えなかったジュニア強化、指導者育成事業、強化選手選考会など行えたらと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

施設部

部長 園部 俊雄



令和2年度の行事予定の中で、講師審査員研修会、春季大会、

第一回五段講習会、第一回三四段講習会、県民総体兼選手権大会予選会、選手権決勝大会、支部対抗戦、新年射会、外部講師招聘講習

会等が新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となりました。一方、三月には感染拡大に対応した新たな全国オンライン弓道交流大会が初めて開催されました。

令和3年度の行事予定はお知らせした通りで、四月には全日本弓道大会が通信大会として実施されました。

県連競技大会の運営は競技部支援の下で各地区が担当する、従来方法に戻りました。

現在も新型コロナウイルス感染者の発生が続いていて、県連行事運営も感染拡大防止対策を徹底したうえで行われます。この対策は当面

続くものと考えられます。三密（密閉、密接、密集）を控え、手洗い・うがいを励行して少しでも早いコロナ禍の終息を待ちたいと思います。

県連の行事が円滑に運営できるよう今年度も施設部員一同、努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。毎年のお運びになりますが、県連倉庫の備品の使用後は必ず元の

会議報告

県外

関東地連会長会議

（書面開催）

全弓連会長会議

（書面開催）

全弓連評議員会

（書面開催）

全弓連評議員会

（書面開催）

関東地連会長会議

（久保田 清 R2/9/7）

関東地連会長会議

（久保田 清 R2/11/25）

全国地連会長会議

県内

理事会（書面開催）

代議員会（書面開催）

研修事業報告

県外

〔関東北地区〕

指導者講習会 中止

〔関東北地区〕

指導者育成講習会 中止

中央研修会 中止

県内

1、講師・審査委員研修会

（R2/4/5 水戸 中止）

2、第1回 三四段講習会

（R2/5/3 水戸 中止）

3、第1回 五段講習会

（R2/5/24 水戸 中止）

4、第1回 教士講習会

（R2/6/13 水戸 中止）

六段10名、七段12名

5、支部指導者伝達講習会

（R2/8/10 水戸 28名）

三段、教七

6、錬士五講習会

（R2/8/16 水戸 10名）

7、五段講習会

（R2/8/30 水戸 21名）

8、四段講習会

（R2/9/12 水戸 22名）

9、錬士六段講習会

（R2/9/22 水戸 21名）

10、三段講習会

（R2/11/22 水戸 24名）

11、外部講師招聘講習会

（錬六以上）

（R3/3/20・21

水戸 中止）

述べ参加者数

148名

県外大会 一般

第67回全日本勤労者弓道選手権大会

（名張市 R2/6/12・14）

・中止

第61回関東地域弓道選拔選手権大会

（上尾市 R2/9/13）

・中止

第53回全日本女子弓道選手権大会

（皇后杯）

（中央道場 R2/9/18・20）

・中止

第71回全日本男子弓道選手権大会

(天皇杯)

(中央道場 R2/9/20~22)

・中止

第75回国民体育大会弓道競技会

(出水市 R2/10/9~12)

・延期

第71回全日本弓道遠の選手権大会

(田辺市 R2/10/23~25)

・中止

第33回ねりんピック

(岐阜 R2/10/31~11/3)

・延期

第48回全自衛隊弓道大会

(東京 R2/12/1)

・中止

県外大会 教職員

第58回関東教職員弓道大会

(群馬県 R2/7/5)

・中止

第51回記念全日本教職員弓道選手権大会

(岐阜県 R2/8/6~8)

・中止

県外大会 高体連

第64回関東高等学校弓道大会

(東京都 R2/6/5~7)

・中止

第65回全国高等学校弓道大会

(茨城県 R2/8/21~24)

・中止

第39回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会

(東京都 R2/9/12~13)

・中止

第75回国民体育大会弓道競技

(鹿児島県 R2/10/9~12)

・中止

第39回全国高等学校弓道選抜大会

(岐阜県 R2/12/25~26)

・中止

コロナウィルス対策の為、団体戦のみ無観客で実施

個人戦は中止

男子団体の部

予選通過 石岡第一

決勝トーナメント

一回戦 石岡一 7~8 星城

(愛知)

女子団体の部

予選敗退 日立北

第20回東日本高等学校弓道大会

(北海道 R3/3/19~21)

・中止

県外大会 中体連

第31回関東中学生弓道大会

(中央 R2/8/10)

・中止

第17回全国中学生弓道大会

(中央 R2/8/15~16)

・中止

連盟後援行事

土浦桜祭り大会

・中止

村松山弓道大会

・中止

鹿島神宮弓道大会

・中止

神栖弓道大会

・中止

あやめ祭弓道大会

・中止

県南弓道大会

・中止

県西弓道大会

・中止

観梅弓道大会

・中止

茨城県弓道連盟主催(主管)県内大会結果

春季大会

R2/4/19

・中止

県民総体兼選手権予選大会

R2/5/10

・中止

選手権決勝大会

R2/5/23

・中止

遠の大会

R2/7/26

男子四段以下

優勝 萩谷 直人

準優勝 中野 耕

第3位 木名瀬 健

第4位 川端 達夫

第5位 内山 吉文

男子五段以上

優勝 大森 陽平

準優勝 瀧口 真央

第3位 菊地 俊和

第4位 尾吹 将大

第5位 高木 勉

女子四段以下

優勝 八巻 千夏

準優勝 江橋 宏美

第3位 加藤真佐美

第4位 加藤 由姫

第5位 大田はるか

女子五段以上

優勝 長谷川絵鈴

準優勝 吉村 静華

第3位 上馬 英子

第4位 宮田はるみ

第5位 柴山 純子

夏季錬成大会

R2/8/15

5人立団体戦

優勝 水戸市

(磯山・齊藤・萩原・平澤・福地)

準優勝 神栖市

(古俣・石島・西岡・船越・川端)

段位別大会

R2／9／26

▼二段以下

優勝 中野 公子
準優勝 稲垣 太郎
第3位 石井 利男
第4位 栗島 則夫
第5位 伊藤 遥香

▼三段の部

優勝 宮崎 隆之
準優勝 柿沼 雅貴
第3位 内山 吉文
第4位 伊藤 芳郎
第5位 綿引 美穂

▼四段の部

優勝 熊谷 博明
準優勝 中野 耕
第3位 佐々木則子
第4位 砂田 桂佑
第5位 園部 晃生

▼五段の部

優勝 大森 陽平
準優勝 木村 薫
第3位 瀧口 真央
第4位 下津 隆明
第5位 関口 信夫

▼称号受有者の部

優勝 尾吹 将大
準優勝 高野 敬光
第3位 橋本 真也
第4位 和栗 淳
第5位 福地 平

▼優秀賞

式段以下の部 伊藤 遥香

参段の部 宮崎 隆之

四段の部 園部 晃生

五段の部 長谷川絵鈴

支部対抗戦

R2／12／20

・中止

ねりんピック予選

R2／12／7

・中止

中野杯

R2／11／14

▼男子の部

優勝 平澤 好美
準優勝 萩谷 直人
第3位 瀧口 真央
第4位 小沼 隆史

第5位 熊谷 博明

▼女子の部

優勝 長谷川絵鈴
準優勝 斎藤 詩乃
第3位 島崎かおる
第4位 沖田 紀子
第5位 佐々木則子

▼称号受有者の部

優勝 福地 平

準優勝 菊地 俊和

第3位 米山 良美

第4位 小出 則行

第5位 小堀 富男

新年射会

R3／1／11

・中止

茨城県教職員弓道連盟県内大会結果

春季大会

R2／4／25

・中止

秋季大会

R2／11／22

・中止

高体連県内大会結果

春季大会 兼 関東大会県予選

・中止

高校総体予選 県民総体予選
全国総体予選 国体茨城大会

・中止

国体選手選考会

・中止

茨城県高等学校弓道夏季大会

R2／8／1～3

総体予選が中止になり、今年度限りの大会として実施

▼男子団体

優勝 日立第一A

準優勝 藤代B

第3位 石岡商業A

第4位 霞ヶ浦A

第5位 藤代A

第6位 清真学園A

▼女子団体

優勝 水戸第二B

準優勝 守谷A

第3位 取手第一A

第4位 水海道一B

第5位 石岡第一B

第6位 清真学園D

▼男子個人

優勝 木村 蓮(石一)

準優勝 池延 豪(霞浦)

第3位 飯島 健(藤代)

第4位 遠藤 陽史(日一)

第5位 小比木弘巨(霞浦)

第6位 代々城雄大(石商)

宮崎 颯人(麻生)

▼女子個人

優勝 倉持 綾乃(妻二)

準優勝 稲垣 風香(水一)

第3位 安藤 鈴華(取一)

第4位 落合 一葉(守谷)

第5位 眞岡 七光(那珂)

第6位 井川 綾乃(鹿島)

県個人選手権兼関東個人選手権県予選会

・中止

新人大会 兼 全国選抜予選

R2／11／11 (男子)

R2／11／13 (女子)

▼男子団体

優勝 石岡第一

中野優勝旗大会		準優勝 日立第一A
R2／8／11～12		第3位 清真学園
男子個人		取手第一
女子団体		優勝 日立北
準優勝 下妻第一		
第3位 水戸第二A		
水戸第二B		
男子個人		優勝 本多 涼雅(石二)
準優勝 末行 良会(土三)		
第3位 久松 龍弥(栄進)		
女子個人		優勝 松尾 百花(藤代)
準優勝 金久保更紗(水二)		
第3位 大内 柚凜(水二)		
県高校弓道冬季大会		
中止		
中体連県内大会結果		
県総合体育大会		
R2／7／25		
中止		
中野優勝旗大会		準優勝 益子 菜摘(水戸二)
R2／8／11～12		第3位 大図 詩織(内原中)
男子個人		優勝 船越 大智(清真学園)
準優勝 木幡 俊祐(千波中)		
第3位 水田 聖惟(大穂中)		
女子個人		優勝 大石 咲季(水戸二)
準優勝 小田川日由里(神栖一)		
第3位 川野邊 集(水戸二)		
県新人大会		
R2／11／5		
男子団体		優勝 太田中
準優勝 阿見中		
第3位 朝日中		
女子団体		優勝 猿島中
準優勝 清真中		
第3位 城ノ内中		
男子個人		優勝 中村 呼生(太田中)
準優勝 猪狩 貫太(東海南中)		
第3位 木村 颯(水戸二)		
女子個人		優勝 佐竹 杏菜(水戸二)
武道フェスティバル		
R2／11／21～12／6		
男子の部		優勝 亦野 涼雅(清真)
準優勝 ビアワグア菜慎(東海南)		
第3位 木暮 楓太(東海南)		
入賞 藤田 怜生(水戸二)		
女子の部		優勝 中村 心美(清真)
準優勝 市村 美悠(稲田)		
第3位 近藤 瑛梨(城西)		
入賞 大津 陽菜(内原)		
平野 天音(東海南)		
綾部 伶俐(阿見)		
平野 知(猿島)		
梶山 めい(太田)		
佐伯 玲音(稲田)		
大住 智香(竹来)		

令和2年度 中央(臨時)審査会 合格者

No	称号・段位	氏 名	所 属	取得日	審 査 場 所
1	七段	海老根 芳 江	湊	R3. 3.19	推薦
2	教士	塩 津 多恵子	射 友 会		

令和2年度 五段審査会 合格者

No	段位	氏 名	所 属	取得日	審 査 場 所
1	五段	斎 藤 詩 乃	筑波大学	R2.11. 3	【茨城】五段審査
2		佐々木 則 子	堀 原		
3		吉 澤 綾 子	水 戸		
4		大 間 香代子	取 手		